

画論 The Best Image 2014 参加報告

北光記念病院 近藤 優一

今回は Prime 導入記念も込めて、必ず応募しようと思っていました。
(応募しようと思いながら、いつの間にか締め切り期限がすぎてしまうのが、この画論・・・みなさんも、そんな経験ないですか?)
上位入賞の知らせは突然やってきました。私は、カテ室にいたのですが、東芝の支店長をはじめとする錚々たる方たちが、“おめでとうございます” と一言。何が起きているのか一瞬パニックでしたが、“これはどうも喜んでいいことらしい” とじわじわと解ってきました。 ” そっか、12月14日・・・東京か・・・“

やっぱりだ、日本海側は大荒れの予報、札幌はそれほど影響がないようだが・・・えっ！JRが止まってる！！ “だからこの時期は嫌なんだよ” と当日はバタバタで東京に向かいました。(雪のない世界は、本当に同じ日本とは思えない・・・)

会場は座席指定で、なんと一番前。目の前には、著名な審査員の先生方。ことの大きさを実感し始めた頃、後ろから、肩をポンと叩く人が・・・ “頑張ってる！” JCHO の山口さんが声をかけてくれました。一瞬にしてアウェイ感が無くなりました。(ありがとう、山口さん)

当院の症例は、低侵襲の冠動脈 CT です。心臓 CT では ONE が脚光を浴びる中、ヘリカルでは、少し肩身が狭い思いでした。他院の症例はどれもすばらしく、撮影技術のみならず、発想・創意工夫に感銘を受けました。しかし、表彰式で、最優秀賞を受賞された方々のうれしそうな表情を見ると、悔しい思いがこみ上げ、“来年は、あの壇上に・・・” と決意を新たにしたのも正直なところ。まだまだ向上心を絶やさず、日々精進を誓った 画論 the best image2014 でした。

いつか北海道ユーザーで、各部門の上位入賞を独占できるようなことがあれば、素晴らしいですね。今年も切磋琢磨していきましょう。